

世界で一番醜い女 (1999)

LA MUJER MAS FEA DEL MUNDO

メディア 映画

ジャンル コメディ サスペンス SF

製作国 スペイン

色彩 Color

時間 109分

初公開日 2002/06/22

公開情報 オンリー・ハーツ=マイピック

【解説】

近未来のスペインを舞台に、世界一醜い顔で生まれてきた一人の女性が、成長し非合法の整形手術で絶世の美女へと変貌を遂げるや、これまでひどい仕打ちをしてきた人間たちへの復讐を繰り返すさまを描いた異色コメディ。監督のミゲル・バルデムにとっては共同監督作品を除くとこれが長編初監督となる。

2010年大晦日、第三共和国スペインの首都マドリッド。老女惨殺の報を受け現場に向かったアリバス刑事。監視カメラが捉えた犯人は、尼僧の恰好をして老女をメッタ刺しにしていた。捜査を続けるアリバスはやがて、学会から追放された整形外科医ウェルナーに犯人との接点を見出す。そして、ウェルナーの革命的な整形手術により、絶世の美女へと変身したひとりの女性が浮かび上がる。ウェルナーによると彼女は、伝説の美女と同じ名を持つ“世界で一番醜い女”ローラ・オテロ。その醜さは、母親でさえ生んだ直後にショック死してしまったほどだった……。

【クレジット】

監督	ミゲル・バルデム	Miguel Bardem
製作	フランシスコ・ラモス	Francisco Ramos
脚本	ナチョ・ファエルナ	Nacho Faerna
撮影	アラン・バネ	
特殊効果	レジェス・アバデス	
衣装	パロマ・ロペス	
編集	イバン・アレド	Ivan Aledo
音楽	フアン・バルデム	Juan Bardem
出演	エリア・ガレラ	Elia Galera
	ロベルト・アルヴァレス	
	ハヴィヴィ	
	エクトル・アルテリオ	Hector Alterio
	アルベルト・サン・フアン	Alberto San Juan